

～緊急事態宣言の影響を乗り越えて～ 「京乃百年洋食」を身近にする 老舗洋食店の事業再構築

INTERVIEW

株式会社キャピタル東洋亭本店 代表取締役社長 高橋克彰さまにインタビューを行いました。



ご支援に至った経緯

明治30年に京都で初めての洋食レストランを開いた同社は、コロナ禍によって、出店していた洋食店9店舗は他の飲食店と同様に深刻な影響を受けている。

withコロナ、アフターコロナに向けて売上の回復、従業員の雇用維持に向けて、思い切った事業の再構築が必要であるとし、今まで作ることがないテイクアウト・通販分野への進出を経営判断した。

しかし、苦しい事業環境のなかで、何か同社で活用できる公的支援制度はないかと、メインである金融機関に相談したところ、当社の存在をお聞きになり、お問い合わせをいただいた。

ご評価いただいたポイント

今回は同社にとっても大きな転換点であり、他の金融機関経由で別の他社とも面談をしていた。当社を選んでいただいた一番の理由は、「納得感があった。これまでの実績から、より具体的な手順や採択のための審査ポイントなどのノウハウなどを、より明確に色々教えていただいた。」とおっしゃっていた。

契約後も「所要所でzoom会議でしっかり相談に乗っていただいたので、不安はなかったです。」とご評価いただいている。



北山のシンボルである
本店外観



左／代表取締役社長
高橋さま
右／担当 船着



＜有名なハンバーグステーキとトマトサラダ＞



＜百年洋食ハンバーグ弁当＋トマトサラダ＞

駅構内売店

通信販売

テイクアウト

多様なチャネル展開

今後の期待

テイクアウト・通販事業を始めるにあたり、セントラルキッチンを開設し、商品を供給していく。

同社がお弁当・お惣菜を売っていくということで、まだオープン前ではあるが、メディアへの露出等の影響から多様なチャネルからオファーをいただいている。

それらの取引先の声に応えていくには、体制の整備含め様々な課題をクリアしていかなければならず、今後もアドバイス等をいただくことで、その解決に向けて協力をしてもらいたいと思っている。

担当者のコメント

同社は京都では知らない人はいないほどの有名店であるものの、公的制度も含め様々な側面で、今後ご支援ができるのではないかと考えています。

本取材を通して、このような状況だからこそ、本業を優先し、その他業務についてはそれぞれのプロに相談する、任せるという姿勢は、経営者として「委譲」も含めた高いマネジメント能力の一つであると感じています。

計画に要した期間：2ヶ月 投資対象：内装工事、厨房機器一式等



社名 株式会社キャピタル東洋亭本店

URL : <http://www.touyoutei.co.jp/>

住所：京都市北区上賀茂岩ケ垣内町28番地の3

事業概要：洋食店、洋菓子販売 等